

傍聴者の声

紙面の都合上、要旨を抜粋いたしました。(敬称略)

9月議会傍聴者数

9月5日	7名
6日	1名
7日	4名
9日	1名
15日	2名
22日	3名
合計	18名

町民のみなさんの傍聴・感想 ありがとうございました

まつぶし議会だより 第75号

議事を傍聴に来たが、質疑の途中で議長の通告により、昼食休憩になった。確かに昼だが質問者があと15分の所で中断し、午後からの開始にするのはどうか。次に足を運ぶ気力が薄れた。

(松田勝彦)

発言は下を向き、原稿を読みながらの発言が多く、聞き取りづらい。議場出入り口脇隣に喫煙所があるのは如何なものか。

(河崎敏夫)

ハザードマップの 実効性を高めよう

総務産業常任委員会

6月30日、つくば市の独立行政法人防災科学技術研究所を視察した。研究所では、松伏町の予想最大震度の紹介された。次に、建設業者向けの震動実験場と、地滑り実験場の説明を受けた。

研究所は300人以上も抱える大規模研究所だったが、松伏町ハザードマップの検証はできなかった。また、津波や洪水の研究者もいなかった。身近な災害対策は、自分たちで作るしかないと感じてきた。



広大な地滑り実験場

小学校の 外国語教育視察

文教民生常任委員会

7月7日、粕壁小学校と教育センターにて、外国語教育に関する授業見学と春日部メゾット開発の説明を受けた。

粕壁小学校は平成22年度から教育課程特例校となった。外国語を十分に理解し、未来の国際人を育てる町を目標に「学びあい、伝えあい、育ちあい」を実践している。

4年生の英語教室では、指導員によるゲームを通してコミュニケーションを楽しむ内容で、クラス全員が生き生きと参加していることに驚いた。



英語の授業風景

【編集後記】

飯島 正雄

自然災害により大切な人や日常の暮らしを失なった方々がいる。震災後「頑張れ東北」を掛け声に励ましのエールが届き感謝の声が響いた。改めて家族の絆・自分の周りの命の尊さ・共有出来る時間の大切さに気付いた方もいたのでは。核家族少子化で人との会話・近所付き合いが少ない今、「自分だけ」ではなく「お蔭様で」の心で声掛けあってみませんか。

議会だよりの編集委員の一人として読者の皆さまに今後も、ていねいに、わかりやすい内容で、伝えていければと思います。

- 議長 鈴木 勝
- 議会広報発行特別委員会
- 委員長 莊子としかず
- 副委員長 堀越 利雄
- 委員 山崎 正義
- 委員 佐々木ひろ子
- 委員 高橋 昭男
- 委員 広沢 文隆
- 委員 飯島 正雄

平成23年10月28日発行

発行 松伏町議会 編集 議会広報発行特別委員会 048(991) 1810(直通)
住所 〒343-0192 埼玉県北葛飾郡松伏町大字松伏2424番地